

決算審査特別委員会 自由民主党議員団代表 伊藤よしのり

総務費、衛生費では、

自殺対策事業で普及啓発と人材育成を全庁的に進められるよう要望する。

地域活動支援センター運営費助成については現状に照らして見直すことを強く求める。

民泊の条例化を強く要望する。

環境費では、

災害に強い街づくりの普及に努めるよう求める。

都市整備費では、高齢者にとって便利なバス路線となるよう要望する。

掘切のまちづくり戦略の更なる推進を望む。

都市計画道路拡幅工事を早期に進めるよう望む。

区内の桜並木は、地域住民とよく検討を重ねた上での植替えを求める。

京成押上線立体交差事業について、都・区・京成の三者協議で高架下活用方針を早期作成し、立石高架下の消防団小屋の移転も円滑に進めてもらいたい。

教育費では、

外国人の増加に対応するため、日本語学級、日本語ステップアップ教室の指導体制の強化を求む。

小学校体育館及び旧学校体育館へのエアコン設置を急いでほしい。

都営住宅備用地取得基金とをバランス良く活用し土地の確保に努め増額を求める。

葛飾盆まつり事業経費については、わがまちの盆踊りを心から楽しめる事業になるよう、検討を求む。

産業経済費の「商店街販売促進事業費助成」では、

消費税増税に対応できる商店街支援としていただきたい。

福祉費では、

特別養護老人ホーム等が供給過多にならない様、動向を見極め整備するよう要望する。

児童福祉費では

保育所・幼稚園の人材確保を強く要望する。

マタニティパスは適切な使用を把握し易くなる仕組みの導入検討を求む。

などについて自由民主党を代表して質問、要望を行いました。

